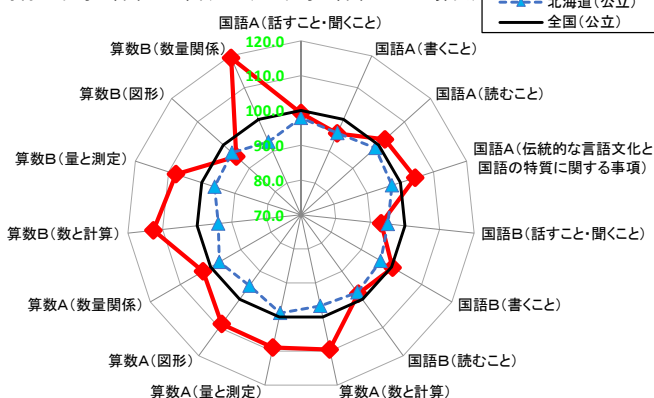


■長万部町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:2、児童数:28名)

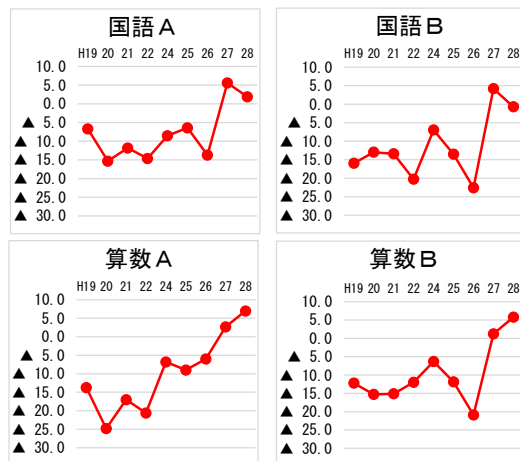
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したものを

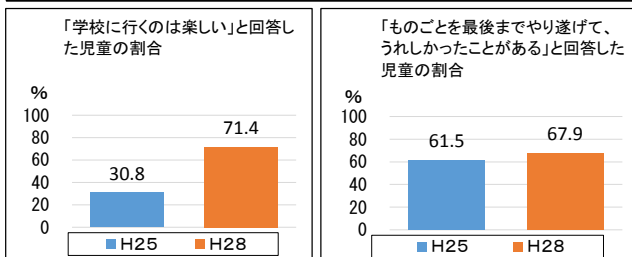
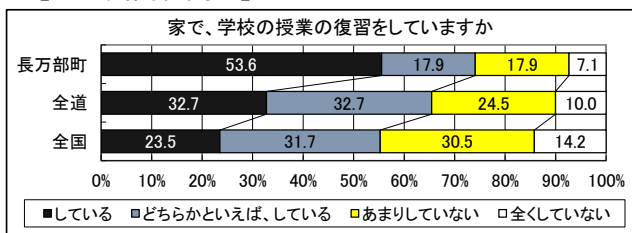
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



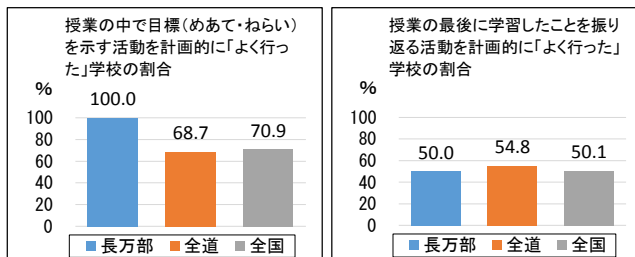
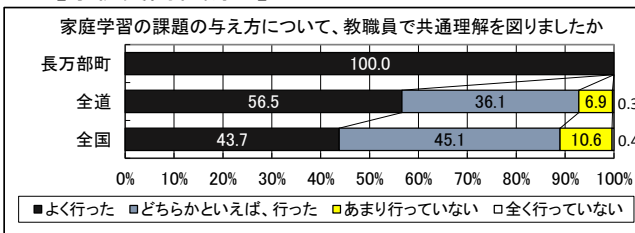
【平均正答率の全国との差の推移】



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aにおいて、全国の平均正答率を上回り、Bにおいて、全道を上回っている。 ○ 国語Aでは、「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、Bでは、「書くこと」で、全国を上回っている。 ○ 算数A・Bにおいて、全国の平均正答率を上回っている。 ○ 算数Aでは、すべての領域、Bでは、「数と計算」「量と測定」「数量関係」で、全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 補足的な学習サポートの実施等の結果、漢字の読み書きや数と計算などの基本的な力が身に付いたと考えられる。「話すこと・聞くこと」や「図形」では、全国を下回っている状況が続いており、今後は、言語活動を取り入れた授業改善に取り組む必要がある。 ○ 授業のめあて(課題)を明確にした授業が積極的に実践されている。今後は、振り返りの場面まで見据えた授業改善に取り組む必要がある。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「家で、学校の授業の復習をしている」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 今年度、町内の小・中・高で家庭学習強調週間等の取組を共通して行った結果、家庭学習習慣が定着したと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ すべての学校が、「家庭学習の課題の与え方について、教職員の共通理解を図った」「授業の中で目標(めあて・ねらい)を示す活動を計画的に行った」と回答している。 	

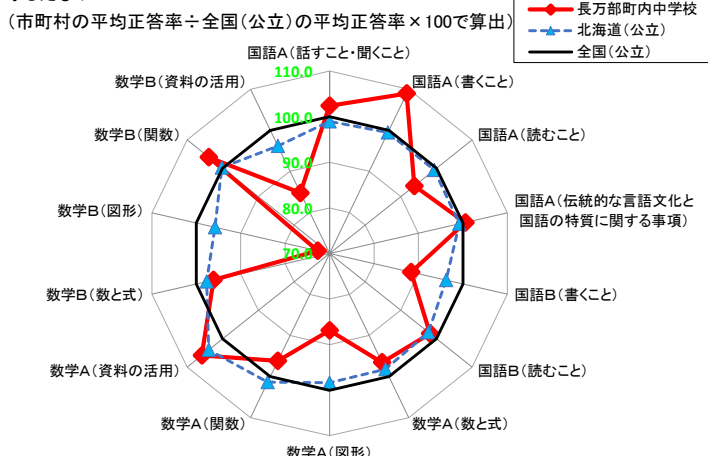
【長万部町の学力向上策】

- ◎ 「話すこと・聞くこと」を重点とした国語科や特別活動の全体計画及び年間指導計画の見直し、めあてから振り返りまでの1単位時間の授業の流れの明確化など、町教育研究所を中心とした研修の活性化
- ◎ 児童の実態把握、課題となる単元の重点化、授業参観交流、指導法の改善を進めるための教育連携会議の開催
- ◎ 学習支援員の日常的な授業への関わりや長期休業中の学習ボランティアを活用した補足的な学習サポートの実施

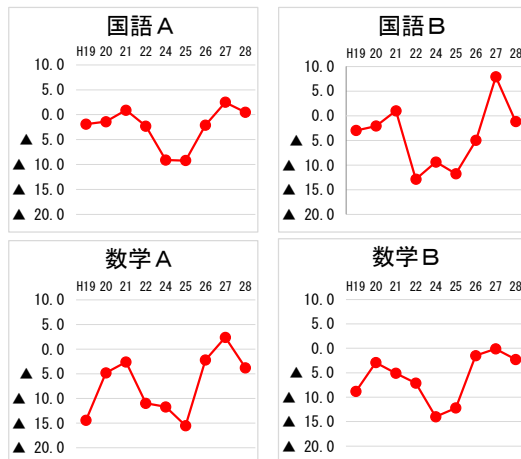
■長万部町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1、生徒数:33名)

【教科全体の状況】

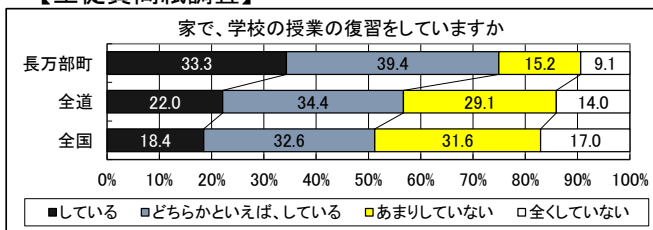
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの



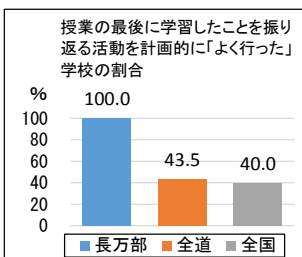
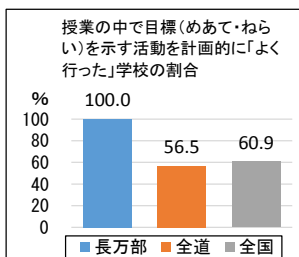
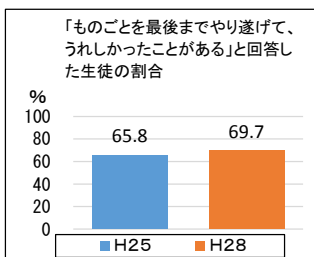
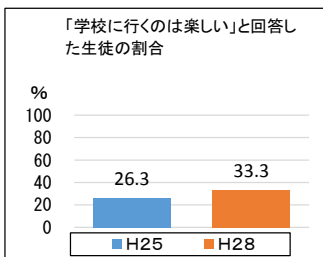
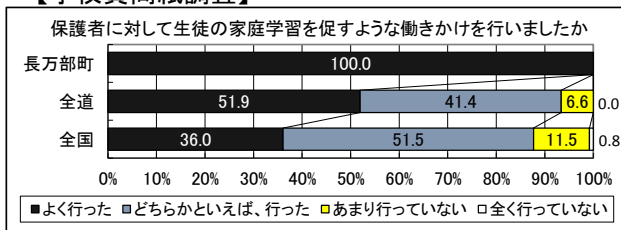
【平均正答率の全国との差の推移】



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aにおいて、全国の平均正答率を上回り、Bにおいて、全道の平均正答率を上回った。 ○ 国語Aでは、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で、全国を上回り、Bでは、「読むこと」で、全道を上回っている。 ○ 数学Aでは、「資料の活用」、Bでは、「関数」で、全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒に適切な課題を提示し、最後までやり遂げる指導を行った結果、「学校に行くのは楽しい」「ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある」という質問に「当てはまる」と回答した生徒の割合が、平成25年度に比べ上昇し、自己肯定感が高まり、学習意欲が向上したと考えられる。 ○ 授業の中で目標(めあて・ねらい)を生徒に示す活動や授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的によく行った結果、平均正答率が上昇したと考えられる。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「家で、学校の授業の復習をしている」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 今年度、町内の小・中・高で家庭学習強調週間等の取組を共通して行った結果、家庭学習習慣が定着したと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 保護者に対して生徒の家庭学習を促す働きかけをよく行った。 	

【長万部町の学力向上策】

- ◎ 生徒の発達の段階に応じた指導の専門性を高める教科間連携など、小・中連携の推進のための教育連携会議の開催
- ◎ 家庭学習の意識化・習慣化に向けて、学校および保護者が一体となった「家庭学習強調週間」の推進
- ◎ 情報機器等の充実など、生徒の学習意欲を高め、効果的な学習活動を実践できる環境の整備
- ◎ 長期休業中、補充的な学習サポートの充実に向けた地域住民の学習ボランティアによる支援